

日本スリッター工業株式会社

合成樹脂フィルムなどの スリット加工の草分け的存在

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



大阪府高槻市に構える本社工場

主な事業内容

合成樹脂フィルム、シート、
不織布などのスリット加工

主な取引先(納入先)

医薬品、衛生材、電子材、食品包材、
衣料部材などのメーカー、商社、加工業者

主な製品

PTP包材、衛生材部材、キャリアテープ、
食品用包材、シームテープなど

業務内容
協力会社は約80社
二次加工も可能に

日本スリッター工業は、合成樹脂フィルム、シートや不織布などのスリット加工業者。顧客の要求に応じて様々な幅のスリット加工ができる。約80社に及ぶ協力会社を持つため、突切り加工やレーザカット、ラミネートから異物検査までワンストップでコーディネートが可能だ。

同社は現社長・高橋秀太氏の父である一太氏が創業した。京都で食堂を営んでいた一太氏が、スリット加工会社を立ち上げたきっかけは、京都の機械メーカー・西村製作所の部長と偶然出会ったこと。同社が日本で初めて完成・販売を開始したスリッター機の第一号を、日本スリッター工業が導入している。

強み
PTP包装材の
国内シェアは約30%

「日本の高度成長は、スリッター技術がなければ実現しなかった」と、高橋社長は言う。その言葉通り、顧客の生産自動化・省人化、高速化などのニーズに応え、医薬品のPTP包装材や、インスタントラーメンの包装材、電子材料

保護用のキャリアテープなど、最先端の製品に関連する材料を、同社は次々生み出してきた。

PTP包装材では、一時、国内市場をほぼ独占し、現在でも約30%の国内シェアを誇る。キャリアテープの国内シェアも約15%。インスタントラーメンの印刷済み包装材の巻きずれ補正装置を、わが国で初めて採用するなど、スリット加工の草分けとしての技術力が強みだ。

加工一筋
顧客は約1,000社
営業部門は持たず

同社には営業部門がない。これまでの実績から知名度が上がり、顧客がおよそ1,000社にまで増加。その顧客からの紹介により新規の注文が絶えず入ってくるためだ。「顧客の要求に合う製品を、ワンストップでコーディネートできることも、顧客からの信頼につながっている」という。

10年前には、フォークリフトの爪先が水平かどうかを検知する独自製品を開発したこともある同社。しかし、「今後はスリット加工一筋の企業として成長を図る」と、高橋社長は言い切る。フィルムやシートに、それだけの将来性を見ているからである。

社長あいさつ



代表取締役
高橋 秀太さん

当社は日本初のスリット加工業者として、また、一巻き一巻きの製品に魂を注ぎ込む“一巻入魂”の精神をモットーに、多様化するお客様のニーズに応じてまいりました。後継者の息子の良太も昨年に入社し、これからも技術の研鑽、高品質のサービス、より高いレベルの提案で、皆様のご要望にお応えしていく所存です。

主な保有設備

- 広幅スリッター機
TC型ほか
西村製作所製ほか 10台
- 中型スリッター機
TC型ほか
西村製作所製ほか 15台
- 細巾スリッター機
TBⅡ型ほか
西村製作所製ほか 5台

大阪
04

住 所／〒569-0031
高槻市
太冠町1-16-5
T E L／072-670-1111
F A X／072-675-0022
創 業／昭和34年7月
設 立／昭和37年1月
資本金／1,000万円
従業員／19名



同社のスリット加工品は身近な場面で活躍している



スリット加工品の例



<http://www.nihon-slitter.co.jp/>